「在宅での栄養支援 在宅要介護者への口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション」

大阪大学大学院歯学研究科　高次脳口腔機能学講座　准教授　舘村　卓　先生

在宅要介護者（児）への栄養支援する上では，まず摂食嚥下機能の評価と対応が必要となる．現在，脳血管障害の急性期から回復期での症例への嚥下障害への対応法については，多くの情報が入手できるようになった．一方，在宅要介護者（児）での嚥下障害は，多様な背景疾患，初期対応の拙さ，長期的・不十分な介入による廃用性変化により生じている場合が多く，脳血管障害例での対応法が奏効しない場合も多い．

今回，在宅療養される要介護者（児）での嚥下の各プロセスを障害する，在宅療養される人々に固有の因子について，臨床口腔生理学的な視点で解説し，対応法の一部を紹介した．そのような概念の具体例として，脳外科手術後 8 年間非経口摂取であった遷延性意識障害患者を取り上げ，口腔ケアを軸にした摂食嚥下療法によって良好に普通食の摂取まで回復できた例を紹介した．

無断使用および転載禁止